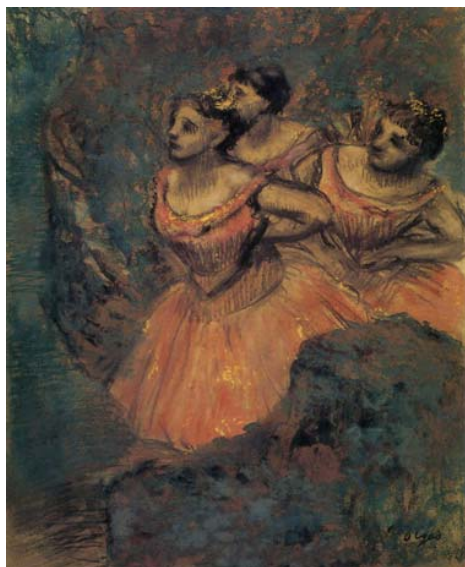


三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2009.11.30

No.1934
No.17



出席率	会員54名中44名
先々週の出席率	93.88%
ヴィジター	米山奨学生 タキ・コフィ・アルフォンソ君
先週の メイクアップ	11/18 三條東RCへ 飯山勝義君 野島廣一郎君 佐々木常行君 11/19 加茂RCへ 野崎正明君 11/20 地区資金委員ミーティング(柏崎)へ 野島廣一郎君 11/22 ガバナー連絡会へ 馬場信彦君 葦澤喜一郎君 11/24 三條北RCへ 安達 裕君 西巻克郎君 野島廣一郎君 佐々木常行君 11/25 柏崎RCへ 野崎正明君 11/28 新潟南RC創立50周年記念式典へ 馬場信彦君 葦澤喜一郎君 野島廣一郎君 佐藤嘉男君 11/28 北信第2グループIM(長野県中野市)へ 鈴木 武君



会長挨拶

三條南ロータリークラブ 会長
佐藤 嘉男

挨拶をさせていただきます。

土曜日、新潟南ロータリークラブの50周年記念式典に馬場パストガバナー、葦澤さん、野島さんの4名で出席して参りました。50周年のテーマを「温故知新」として、これまでの50年の先輩達の情熱と行動を振り返り、今後の50年を展望しようとテーマを掲げ、ホテルオークラ新潟において、友好クラブの高崎南RC、高崎セントラルRC、姉妹クラブの台中南屯RCを含めて340名の参加で実施されました。

式典では、参加クラブ紹介で三條北RCを忘れるとか、40分の予定が1時間かかったとかありましたが順調に進行し、記念講演では、京都大学名誉教授の佐藤幸治さんが、「これからの日本と憲法」講演されました。

その後、パネルディスカッションがあり、東京恵比寿RCの松島トモ子さんと本間みりさんがパネリストとなり、「私とロータリー」をテーマに行われました。

恵比寿RCでは、ネパールにおいて「バイオガス・トイレ」プロジェクトを行ない、「環境循環型」のトイレを電気・ガス・水道の無いネパールの山奥に作ることににより、そこから発生するガスを使い、炊事用や家庭の照明用に使うものだそうです。現地の人の参加や政府からの補助金により、1基約4万円で設置が出来、その半分の負担1基2万円で作ることが出来るとPRしておりました。

また、インターネットによるトラブルから子供達を守るために、「たいせつなだからもの～ネットに潜むわなを乗り越えて～」というコミック教材を作り、学校図書室や図書館に寄贈する運動も他のRCでも実施して欲しいとのPRもありました。

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 ジョン・ケニー [スコットランド]
第2560地区ガバナー 植木 康之 [柏崎]
第4分区AG 米山 忠俊 [三條北]
会 長 佐藤 嘉男
幹 事 荒澤 威彦
S A A 熊 倉 高 志

事務局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10
三條信用金庫 本店内
TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL http://www.sanjo-minami.jp

恵比寿 RC は現在、会員 101 名（男性 53 名、女性 48 名）で入会希望者が待っているという非常に羨ましい RC でありました。

その後、祝賀会に入ったわけですが、柳都芸妓による祝舞の後、植木ガバナーも乾杯の挨拶の中で言うておられました。これだけ派手で内容の濃い周年事業をやられると来年行われる、50 周年 3 つを含む 8RC の周年事業はやりにくくなったと思います。

話は変わりますが、明日 12 月 1 日は“映画の日”“省エネルギー総点検の日”そして、“鉄の記念日”でもあります。

身近な鉄の例として「パチンコ玉はなぜ弾むのか？」については、ファンの多い遊戯を支える鉄の力が見えてきます。パチンコ玉の原料は線材。しかし、短く切って丸くプレスするだけでは弾みません。浸炭焼き処理により表面の 0.5 mm だけ硬くする技術が弾力の源です。

また、「製鉄技術の発展とともにピアノは大きく、美しい音色を奏でることが可能になった」と言われています。これは大きな音を出すためにはピアノ線を非常に強く張る必要があります、産業革命で製鉄技術が進歩するまでこの張力を支えるフレームが生み出せなかったからです。因みにグランドピアノの重さは約 350 kg、その重量の 1/3 がピアノ線とその張力を支える鉄製フレームで占めています。

明日の“鉄の記念日”、普段と違う視点で鉄を眺めてみて下さい。

よこそ 三条南ロータークラブへ

米山奨学生 タキ・コフィ・アルフォンソ君

ちょうど昨年 11 月より 1 年間就職活動をしてきましたが、ようやく富山県の薬品・化粧品メーカーより内定をいただきました。お父さん始め、サポート、心配して下さった皆様に改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。卒業までまだあります。今後もよろしくお願いします。



幹事報告

荒澤 威彦 幹事

東山ガバナーエレクト事務所より

「第 1 回地区運営会議」開催のご案内

日時 2009 年 12 月 19 日（土） 14:00～

会場 宇喜世（上越市）

※ 馬場パストガバナー 荻澤アシスタントガバナー 野崎地区役員 出席予定

植木ガバナー事務所より 地区ロータリアンが死亡された場合の弔電について

各クラブ所属のロータリアンが死亡された場合、ガバナー事務所に連絡のあった場合についてはガバナー名で弔電が打たれます。

植木ガバナー事務所より 12 月ロータリーレートのご案内

現行どおり 1 ドル = 90 円

委員会報告

親睦・プログラム・ニコボックス委員会

永桶 俊一 委員

お父さんともいっしょに忘年家族会 ご案内

忘年家族会を開催いたします。ご家族の皆様にも喜んでいただけるアトラクション等企画準備を進めております。是非多くの皆様よりご出席いただきたくご案内致します。

開催日時 | 2009 年 12 月 21 日（月） 18:30 開会

会場 | 饞心亭 おゝ乃（☎32-4649）

会費 | 会員 3,000 円 ご夫人 無料

キャンセル | 当日 AM10:00 までにご連絡下さい。それ以降、会費ご負担いただきます。

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～11月16日 21,000円
11月30日 23,000円
今年度累計 279,000円～

- 佐藤(嘉)君 馬場輝仁会員、卓話楽しみにしております。社会奉仕プロジェクトの使用済み切手回収と国旗掲揚のアンケート、よろしくお願ひ致します。
- 荒澤君 本日の卓話、馬場輝仁さん宜しくお願いします。
- 馬場(信)君 11/28(土)ホテルオークラ新潟にて新潟南RCの創立50周年記念式典・祝賀会があり出席してきました。さすがにスマートで威厳のある流れで格式まで感じました。
- 荻澤君 11/28(土)佐藤会長、馬場PG、野島会員と4名で新潟南RC創立50周年記念式典に出席して参りました。盛大な式典と祝宴でした。
- 野島君 28日(土)新潟南RCの創立50周年記念式典に出席して来ました。
- 馬場(輝)君 本日、卓話です。よろしくお願ひします。
- 佐々木君、田代君、野中君、松崎君
馬場輝仁さん、卓話ご苦勞様です。楽しみにしています。
- 吉田君 本日のアンケートで先の水害で国旗をなくしていたことを思い出しました。古き善き習慣を復活しましょう。
- 相田君 この度金山神社銅板屋根葺替え工事が完了しました。記念として古い銅板を利用した「葉」を作りました。
- 吉井君 タキ君の就職内定後、初めての例会出席です。富山県の会社に内定されたとの事。ちょうど連絡をもらった日、私も富山県にいました。運命的なものを感じます。おめでとう！！
- 鈴木(囿)君 タキ君、内定おめでとう。頑張った甲斐がありました。
- 永桶君 11/22(日)父の米寿の祝いをしました。米寿には2年と4日早いのですが、本人がやる気な事と気が早い性格は相変わらずなので、自宅でお祝ひしました。
- 坪井君 よい天気が続きます。BOXに協力
- 安達君 都合で早退させていただきます。
- 坂井(範)君、田中君、西巻君、船久保君、渡邊(久)君
BOXに協力
- 野崎君 本日のBOX担当をさせていただきます。ご協力に感謝致します。

Speech

卓話

「万事研修」

馬場輝仁 会員

こんにちは。今年4月にこの三条南ロータリークラブに入会させて頂きました、馬場輝仁です。早いもので7カ月半が経ちました。

本日の卓話は半年ほど前に言われたのですが、私自身は来年くらいかなと思っていたので、まさか年内に依頼があるとは思っていません、全くのノーガード状態で、無意識にうなずいてしまいました。

人前で話すということについては、私自身、来月卒業になるのですが、11年間三条エコノミークラブに入っていて、2年前に会長をしました。ちなみに私は42代会長なのですが、野崎正明さんは25代会長の先輩です。

会長の時にはやはり人前で話す機会は多く、それもこうして原稿は見ないでその場で考えながら話をしていたので、意外とごまかしが出来たんですね！しかも、話す時間も3分～5分程度、一番長くても10分程度でした。

それに比べると、今日の卓話は、20分？30分？の原稿を作って尚且つ、大先輩の方々の前で話さなくてはならない……。なにか、十数年前に経験した、結婚式の新郎挨拶の緊張にも似た心境です。前置きが長くなりましたが、しばらくの時間、お耳を傾けて頂けたらと思います。

私は昭和44年9月に三条で生まれました。産まれた時の体重は2400gの未熟児で、産まれてから1か月病院の保育器の中だったそうです。

名前についてですが、詳しいことは、もう両親がいないのでわかりませんが、当時、名前の届け出の時に、輝仁の「仁」がついているということで、これまでの皇室で同じ名前がないかなど調べるためだったのか・・・??? 届け出が完了するのに時間がかかったと、小さい頃聞いた覚えがあります。



兄妹は、2つ下の妹と5つ下の妹の3人兄妹です。

2つ下の妹は私よりも早く、東京の警視庁の○暴専門の刑事さんと結婚して千葉に居り、5つ下の妹は旧下田村へ嫁ぎ、今は新潟県家庭教師協会で家庭教師をしております。

そして私自身、同い年で高校の同級生でもある妻と、子供は中学1年生の長男と小学校5年生の長女の4人家族で暮らしております。ちなみに妻の実家は新潟の下町地区（しもまち）にあり、父親が行政書士と測量設計事務所を営み、妻は長女です。

私は今の趣味であるサッカーを条南小学校5年生の時から始め、第一中学でもサッカー一部に入って、勉強そっこのけでサッカーばかりやっていました。当時サッカーというのは、全く普及していなくて、三条には一中と三中にしかサッカー部がなく、市内大会はお互いの学校が2チームつくり、4チームで試合をしていました。

私が中学の頃は毎回決勝は一中Aチーム対一中Bチームと、一中同士の試合になっていました。

ただ県大会の予選となると、三条から2チーム出場出来るので、自動的に一中と三中がそのまま県大会へ行っていました。それでも、県大会の組み合わせを決めるために順位を決めなくてはいけなかったため、そのために試合をやっていた状況です。

私はDFと言う、守り重視のポジションをやっている、そんなにはずば抜けて上手いというわけではなかったのですが、中学3年の夏の大会が終わった頃、当時まだ創立2年目だった東京学館新潟高校の監督から誘われ、親の反対を押し切って、今で言うスポーツ推薦で入学しました。

近年の東京学館のスポーツでの功績は目覚ましいものがあり、最近ですと、新潟国体では、OBが新潟選手団の旗手をしたり、馬術では3年生の桜井風花さんが優勝、新体操では、団体5人中4人が現役の学生で優勝、フェンシングでもOB3人が優勝、その他にも、男子バレーボールに4人、女子バスケットでは14人が新潟選抜として出場していました。

私が卒業してから何度かサッカー部は全国大会に出たりして、一応県内の有力校になっていますが、当時はまだ無名の高校で、練習量だけは全国トップレベルでした。

今もまだそうですが、監督というのは、私が小学校の時、隣の南小学校のサッカークラブ顧問の先生で、当時から目をつけてもらっていたということでした。

ちなみに私がいた条南小学校のサッカークラブ顧問も、その当時南小学校の顧問と同じ社会人チーム、今のアルビレックス新潟の前身である「新潟イレブン」というチームの選手同士でした。

新潟イレブンはもともとは新潟明訓OBチームで、当時の高校総体、新潟代表でもあった明訓高校サッカー部のメンバーそのままだったそうです。したがって、今のアルビレックス新潟の始まりは明訓高校サッカー部OBだったということです。

話がそれてしまいましたが・・・、私が高校に入った時の話まで戻します。

親の反対を押し切って入るには、いくつかの親からの条件があり、それをクリアしなければいけませんでした。

東京学館は今でこそ、新潟テルサ、市民病院、ビッグスワンなどがあり、栄えています。当時はまだ産業センターと鳥屋野レイクランドしかない、畑と田んぼばかりのところでした。新潟駅から自転車で30~40分かかり、近道もあったのですが、その近道は鳥屋野潟のホテル街を通るルートで、毎朝そこに先生が監視で立っていたため、通ることが出来ませんでした。教育によくない道だったんですね。

帰りはさすがに夜8時過ぎということもあって、先生はいないのですが、一般のお客さんがかなりいらっしゃいました。私自身は毎日の下校だけのルートでしたが、あの辺の裏道は当時すでに熟知していました。

練習は夜7時過ぎまで、週1回は7時半から新潟イレブンの練習試合の相手をしなくてはならない、週末もちろん朝から夜まで練習と試合、休みはお盆と正月をあわせた6日間しかない状況、夏休みは全国から強豪校を呼んで毎日試合、春休みはサッカー王国静岡と埼玉への遠征と、三条からの通いが大変だったので、駅南で一人暮らしをしました。

そうすると、予想されるのは、新潟での夜遊びです。当然勉強なんてしなくなります。それを見越してか？父親からの条件は、家庭教師をつけ、常にクラスで上位にいる。部活では1年生でレギュラーもしくは大会登録選手枠に入る、2年生からはレギュラーに入る。この条件が全てクリア出来なければ、その時点で学校を辞めさせるというものでした。

3年間なんとかこの条件をクリアし、その上で、やはり高校生です。どんなにきつい練習を夜遅くまでやっても特に土曜日は、帰宅途中の自転車に乗っている最中に疲れが取れるんです。今だから言えますが、よく駅南から自転車で古町まで遊びに行きました。夜遅く帰宅して、翌日は試合です。今考えると、よくやれたなあと思います。

サッカーに関しては、社会人になってから、新潟市内の社会人チームに入り、新潟県のリーグで夢のJリーグ昇格というとんでもない目標に向かってやっていました。

アルビレックス新潟がJ2に上がったころ、サッカー仲間6人でサポーター集団を作りました。それまでもサポーター集団はあったのですが、我々はもっとカッコいい、ヨーロッパスタイルの応援でアルビレックスをサポートしたいと思い、他の集団と対立覚悟で立ち上げました。

当時はまだその応援スタイルを受け入れてもらえず・・・。

選手からは好評だったのですが、我々が作った HP には「新潟のフリーガン」とか、たまに対戦相手に応援がないと手分けをして相手チームのゴール裏へ行って応援したりして、当時それがニュースステーションで流れ「新潟の裏切り者」とも書き込みされ、HP を閉鎖したこともありました。

しかしながら 2001 年のビッグスワンで行われたコンフィデレーションカップ（これは W 杯開催前年にやる、運営面の予行練習みたいな大会です）この大会で日本代表がビッグスワンで試合をした時にゴール裏の席 200 席を買占め、200 席に 400 人全国の J リーグのサポーターを集め、新潟スタイルの応援をしたことが評判を呼び、それ以来毎試合、6 人から少しずつ人数が増え、今は若い生きのいい仲間を引き継ぎましたが、今では J リーグの NO2 の集客を誇る、あのゴール裏の大サポーターに成長しました。今はあまり試合は見に行かず、たまに日本代表戦を見に行く程度です。個人では、週 1 回、フットサルという 5 人制の室内サッカーをやっています。

話はまた少し戻りますが、高校卒業後は東京の機械工学の専門学校と電気工学の専門学校へ行き、中学卒業後、トータル 7 年ほど、一人暮らしをしていました。

卒業後、父親の会社に入りました。当社は省力化設備のトータルプランナーとして、特に、金属製品に付着している油やよごれを落とす、要するに金属製品の脱脂を目的とした超音波洗浄装置や塗装ラインなどの設備、装置をオーダーメイドで開発設計から製造、組立、据え付け、メンテナンスまで全て自社でやっている会社です。自動車部品や携帯電話のボタン、鍔、バネ、CD、また他に、新幹線のパンタグラフ、砂粒ほどの大きさのベアリングなど、これらを洗浄する装置を作っています。

入社後、2 年間現場で溶接や板金などをやり、その後 2 年間機械の設計をやっていました。ちょうどその頃、社長でもある父が病気で入院し、余命 1 年と宣告されました。私が結婚して、妻が長男を妊娠した年でした。それからの私は、設計の仕事と、父の仕事、経理関係など、両方やりながら、また、週末に父が外泊という形で帰って来ますので、毎週月曜の午前中に新潟の病院まで送ったりしながら、わずかの望みをもって 1 年間過ごしました。当然、父は余命など知りません。回復に向かっていると思っていたと思いますが、もしかすると自分の体なので、自分が一番よくわかっていたのかとも思いますが・・・。

そんな父に仕事のことを聞くと「俺が退院したらやるから放っておけ」と言うだけでした。

しかし、迫りくる 1 年後のことを考えますと、放っておくわけにはいかず、私はこっそりとひとりで経理などの勉強をしていました。

翌年の元旦の朝に長男が生まれ、実は長男が生まれた病院と父の病院は同じで、毎日父は産婦人科へ行って孫を見ていたそうです。長男が生まれて半年後に父は 52 歳で亡くなりました。私が 28 歳の時でした。

その後、母親が社長、私が副社長として会社を経営していましたが、昨年の夏にその母親も父親と同じ癌で入院し、そのわずか 10 日後に亡くなりました。母親は 63 歳でした。父親の命日と母親の命日は一カ月しか違わないので、今年の夏、同じ日に母親の一周忌と父親の十三回忌をやりました。まさか、こんな早くに両親を亡くし、私が父親の十三回忌をやるなんて、想像もしていませんでした。ただ、早かれ遅かれ、そういう日は来るのだと思うしかありません。

まだ私なんて、たった 40 年しか生きていません。たいした経験もしていません。しかし、同年代の仲間の中では、ほんの少しだけ、いいことも悪いことも、今日お話したような貴重な経験をさせてもらってきたかなと思います。

そこで、今日の卓話の題名ですが、「万事研修」。

私が三条エコノミークラブの会長の時に例会講師でお招きした、元松下政経塾初代塾長の上甲晃さんから頂いた 5 つの言葉のうちのひとつです。

意味は「見るもの聞くことすべてに学び、一切の体験を研修と受け止めていそしむところに真の向上がある。心して見れば、万物ことごとく我が師となる」ということです。

この言葉を頂いてから、特にここ最近、実感しております。

これからもこの三条南ロータリークラブで、いろいろな勉強、経験をして行きたいと思います。これからの長いお付き合いをよろしくお願い致します。

映画試写会で脳疾患の研究に数百万ドル

ディズニー映画「クリスマス・キャロル」（日本では11月14日公開）の試写会で、フランスのロータリアンが脳疾患の研究のために100万ドル以上を集めようと意気込んでいます。第11ゾーンの地区が取り組むこの活動は、今回で4回目。試写会チケット代22ドルのうち12ドルが、脳疾患の研究団体に寄付されます。この活動はロータリー100周年の記念プロジェクトとして2005年に開始し、これまでに500万ドル以上を集めました。カトリーヌ・ノワイエ・リボー国際ロータリー（RI）理事は、開始の経緯について「第11ゾーンでは、300万人以上がアルツハイマー病や多発性硬化症、脳卒中といった脳疾患を患っています」と説明。初めての募金活動では、7万500人から100万ドル以上が集められ、ロータリーに関する700以上の記事が国内で掲載されました。

また、地区ではRIの広報補助金を利用してロータリーについての7分間のビデオを製作し、映画の前に上映しています。プロジェクト担当者は、今後、映画館がロータリーのビデオを直接ダウンロードできるようになり、地区とクラブがこれらのビデオで、地元の活動を大々的に紹介できるようになることを期待しています。



12月のお祝い

会員誕生

11日 鈴木罔彦君 25日 大溪秀夫君

夫人誕生

5日 赤塚康子（寧）さん 18日 嘉瀬弘子（修）さん
19日 坂井洋子（範夫）さん 23日 坂本満寿子（洋司）さん

結婚記念

25日 野水孝男君 ・ 智恵子さん

この辺でちょっと一休み

買手市場

「おまえのような親不孝はない。親は有難いものだ。銭金で買えるものではないぞ」
「そんなこと言っても、売りに出したところで、第一買手があるまい」
（明和五、軽口片類笑）

追慕

故人の冥福を祈って命日
に出入りの者たちが集まり
口々に亡き人をほめそやす
のを聞いておりました若後
家が「ほんとうにいい人で
した。今頃もし生きてたら
わたしを後家なんかにして
ほおっておかないでしょう
に」
（明和五、軽口春の山）

東京銀座RC元会員

岡田晃雄著

「江戸小咄和英文柄」から

表紙について

エドガー・ドガ (1834-1917)

「赤い衣装を着けた三人の踊り子」

1896年

*財団法人大原美術館

ロータリーの友 1990年3月号表紙より



E. DEGAS

三條南ロータリークラブ週報

2009.11.30

No.1934 No.17